

さいたま 来ぶらり通信

Contents

アジア最大級の規模を誇る 埼玉スタジアム2002 …………… 1,2

本棚ぶらり テーマ「サッカー」…………… 3

第23回現代短歌新人賞／おおみやデジタル文学館－歌人・大西民子－…………… 4

わがまち

はっけん

Sai 発

アジア最大級の規模を誇る



埼玉スタジアム 2002

さいたま市を語るうえで欠かせないスポーツと言えば、やはりサッカーです。

そこで今回は、本市におけるサッカーの歴史を振り返りながら、緑区にあるサッカー専用スタジアム「埼玉スタジアム2002」をご紹介します。



サッカーのまち さいたま

さいたま市役所の敷地内には、「埼玉サッカー発祥の地」という像が建っています。この場所にあった埼玉県師範学校(現埼玉大学)では、1908(明治41)年に蹴球部が創設されました。やがて卒業生が教師となり指導を始めると、サッカーは当時の浦和で急速に広まり、1950年代から70年代にかけて浦和高校、浦和西高校、浦和市立高校(現さいたま市立浦和高校)、浦和市立南高校(現さいたま市立浦和南高校)といった全国高校サッカー選手権大会優勝校を輩出するまでになりました。

その後、1993(平成5)年に日本初のプロサッカーリーグであるJリーグが開幕し、浦和レッズ(浦和レッドダイヤモンズの呼称)が参戦。1999(平成11)年には大宮アルディージャも加わり、2001(平成13)年に誕生したさいたま市は、2つのJリーグクラブを擁する「サッカーのまち」として知られるようになったのです。

「サッカーのまち さいたま」を広く発信するため、本市では2003(平成15)年から、FCバルセロナなど海外の強豪クラブを招き、浦和レッズ、大宮アルディージャとの国際親善試合である「さいたまシティカップ」を開催しています。



「埼玉サッカー発祥の地」



「埼玉スタジアム 2002」とは

昨年11月に開催された「さいたまシティカップ」の会場は、浦和レッズのホームスタジアムである「埼玉スタジアム2002」(通称埼玉スタ)。2002 FIFAワールドカップをはじめ、サッカーの各種選手権大会やJリーグ、東京オリンピックなどで数々の熱戦が繰り広げられてきました。

観客席数は、サッカー専用スタジアムとしては日本最大の63,700席。スタンド中央最前列から試合が行われるピッチまでの距離はわずか14mで、迫力あるプレーを楽しむことができます。また、埼玉スタを象徴する白い大屋根は、かつて飛来した白鷺のつがいが翼を広げる姿をイメージしたものです。

サッカー以外のイベントも多数開催され、地域の交流拠点としても機能しています。

さらに、スタンド下には2,200㎡の備蓄倉庫があり、災害発生時には、消防・警察・自衛隊などの防災活動拠点としての役割も担います。



埼玉スタジアム 2002 外観



埼玉スタジアム2002の見どころ3選

メインピッチ

一際目を引く、鮮やかな緑色のメインピッチ。Jリーグのベストピッチ賞を4回受賞し、今なお質の高い芝生を維持しています。

芝草には、高温でも育ち冬は休眠する暖地型芝草と、寒さに強く冬でも緑色を保つ寒地型芝草の2種類があります。埼玉の地で気候に合うのは暖地型芝草ですが、大きな屋根が日陰をつくり、十分な日照、通風を確保できない埼玉では、プレーに耐える強い芝生が育たないため、寒地型芝草(ケンタッキーブルーグラス、トールフェスク、ペレニアルライグラスの3系統、7種類のタネを混合してまき、育成されたもの)が採用されています。

しかし、寒地型芝草は高温多湿に弱く、夏の維持管理は困難を極めます。そこで埼玉では、メインピッチの地下に埋設されたパイプに夏は冷水、冬は温水を流して根の生育適温を保つ「地温コントロールシステム」を導入。ヨーロッパの主要リーグと共通する点でも貴重な、関東地方で唯一の寒地型の芝生を守っています。

補修等芝生管理を行うのは、経験豊富なグラウンドキーパーたち。試合翌日には10～15人がかりで傷ついた部分にタネや砂をまいて凹凸を埋め、最後は手足の感覚を頼りに均一に整えます。さらに、ピッチを俯瞰できる座席から試合を観察し、傷んだ所を記録して翌日の作業に反映させるほどの徹底ぶり。試合当日に最高のピッチコンディションを提供し続ける努力に対し、浦和レッズの選手から直接感謝を伝えられることもあります。



スタンドから見たメインピッチ

記念展示

2022 FIFAワールドカップ開催を記念して設置された展示コーナーには、2002(平成14)年以降のワールドカップ各大会のボール、日本代表ユニフォームなどが飾られていて、デザインを見比べたり、写真やサインから出場選手を振り返ったりすることができます。展示内容が変わる場合もありますので、詳しくはお問い合わせください。



展示の様子

公園

埼玉スタジアムを中心^{ヘクトル}に約30haの公園が広がり、サクラ、ラベンダー、モミジなど、四季折々の植物を楽しめます。サッカーグラウンドのほか、誰もが利用できる広場もあり、憩いの場として親しまれています。「もみの木広場」では、メインピッチと同様に手入れが行き届いた芝生の上で時間を過ごすことができます。



満開の桜並木

埼玉スタジアム 2002

〒336-0967 さいたま市緑区美園 2-1

TEL 048-812-2002

※月曜日(祝日の場合は火曜日)を除く 8:30～17:15

FAX 048-812-2500

<https://www.stadium2002.com/>



参考資料

・『埼玉スタジアム2002』 埼玉新聞社 2002年

・『埼玉スタジアム2002のできるまで』 嶋田和則／著 さきたま出版会 2002年

・『埼玉サッカー100周年記念展示図録』 さいたま市立浦和博物館・埼玉県立歴史と民俗の博物館・埼玉大学 2008年

・埼玉県都市整備部公園スタジアム課ホームページ <https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/a1105/index.html>

・埼玉スタジアム2002ホームページ <https://www.stadium2002.com/>

・さいたま市ホームページ サッカーのまちづくり <https://www.city.saitama.jp/004/006/002/index.html>

取材協力・写真提供 公益財団法人埼玉県公園緑地協会 埼玉スタジアム2002公園管理事務所